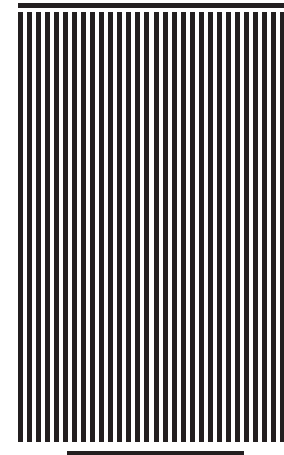


SHARP



空気清浄機
FU-90KK

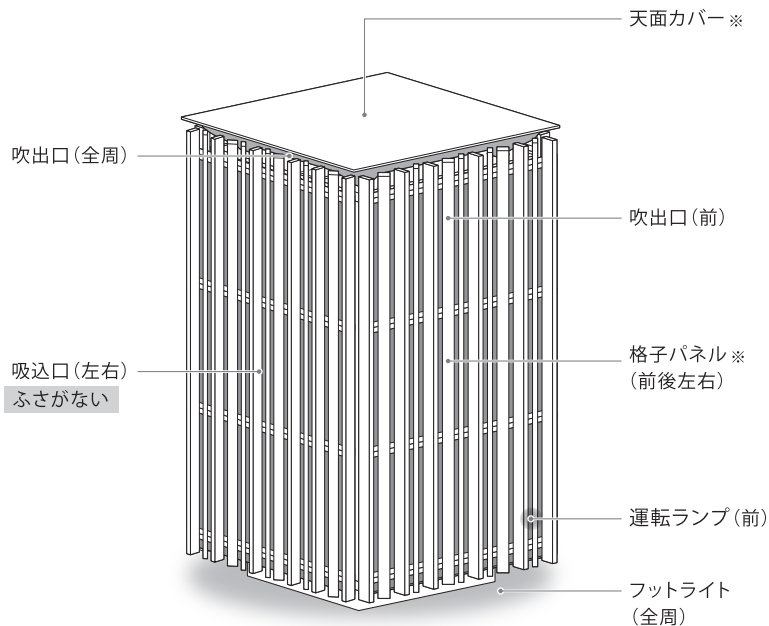
ユーザーガイド



お買い上げいただき、まことにありがとうございました。このユーザーガイドおよび別紙「ご利用にあたっての注意事項」、「無線LANガイド」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ご使用前に「ご利用にあたっての注意事項(安全上のご注意)」を必ずお読みください。

プラズマクラスターロゴ(図形)およびプラズマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の登録商標です。

各部のなまえ

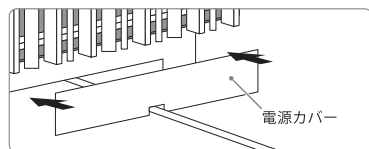


※天面カバーと格子パネルは、木材を使用しています。

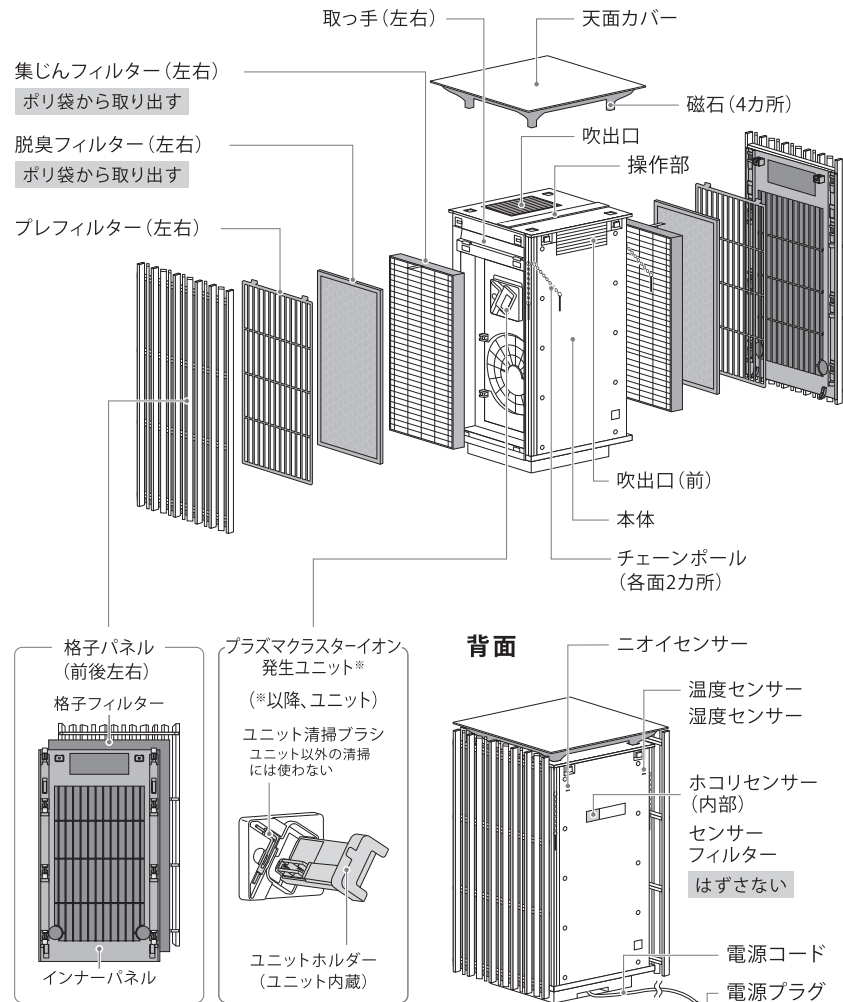
付属品

- ・格子フィルター(12枚)
お手入れ時に交換してください。

- ・電源カバー(1枚)



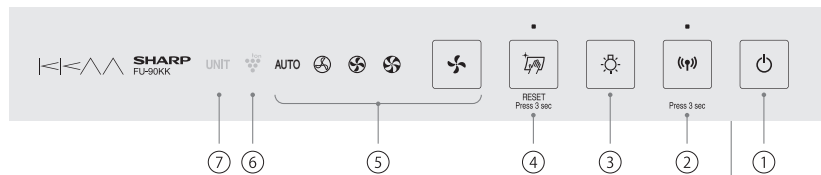
電源コードのすき間が気になるときに
取り付けてください。



格子フィルターの
交換方法は7ページへ

運転のしかた

天面カバーをはずして操作をおこないます。



① 運転/停止ボタン

- ② コネクトランプ/無線ボタン(3秒以上長押し)
無線LAN機能の設定に使用します。

詳しくは別紙「無線LANガイド」を参照してください

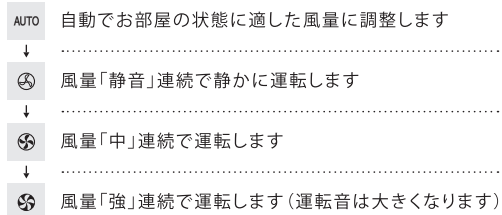
③ フットライトボタン

フットライトと運転ランプの明るさを
明→暗→切(運転ランプは暗)の順に切り換えます。(2ページ参照)

- ④ お手入れランプ(橙)/お手入れリセットボタン(3秒以上長押し)
運転時間が約720時間経過するとランプが点灯します。
お手入れ後にボタンを3秒以上長押しすることでランプが消灯します。
ランプが点灯しているときは、7ページを参考に
お手入れをおこなってください。

⑤ 風量ボタン/ランプ

お好みの風量に切り換えます。

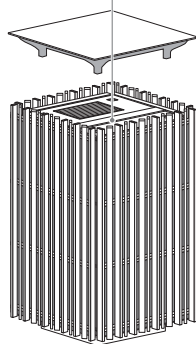


⑥ プラズマクラスターイオンランプ(青)

プラズマクラスターイオン放出時にランプが点灯します。

⑦ ユニット交換ランプ(赤)

ランプが点滅しているときは、8ページを参考にユニット交換をおこなってください。



本体の設定を変更する

プラズマクラスターイオン入/切



点灯:入/消灯:切

運転中に風量ボタンを3秒以上長押しすることで変更できます。
「切」の場合、プラズマクラスターイオンの放出を停止します。

運転自動復帰解除/設定



全点灯:設定/全消灯:無効

停止中にフットライトボタンを3秒以上長押しすることで変更できます。
「設定」の場合、運転中に停電や電源プラグが抜けたり、ブレードが落ちたりしたときでも、
通電を再開すると直前の運転モード・設定で運転を再開します。

センサー感度低い/標準/高い



ホコリ ニオイ

停止中に風量ボタンを3秒以上長押しすると、現在のセンサー感度が表示されます。

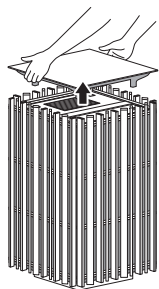
【ニオイセンサー】風量ボタンを押すことで感度を変更できます。

【ホコリセンサー】フットライトボタンを押すことで感度を変更できます。

8秒間操作しなかったときは、終了します。

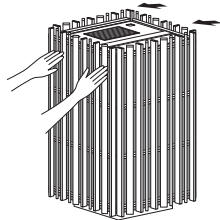
本体を移動するときは

警告 必ず、運転を停止し、電源プラグを抜く(感電やけがの原因)



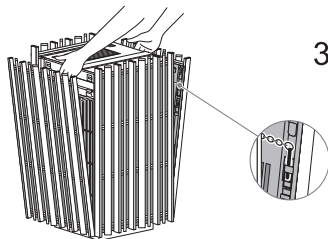
1 天面カバーを取りはずし、運転を停止する

落下によるけがや破損防止のため、天面カバーは取りはずしてください。



2 格子パネルを開く

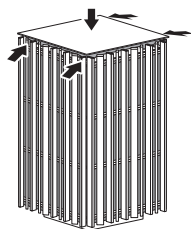
格子パネルの両端を押して、左右の格子パネルを開きます。



3 本体を移動する

取っ手を持ち、本体を移動させます。

チェーンボールがはずれないようにご注意ください



4 元の状態に戻す

格子パネルの両端を押して、左右の格子パネルを閉じ、天面カバーを戻します。

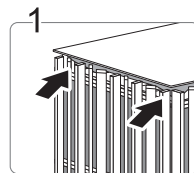
お手入れ

警告 お手入れ時は電源プラグを抜いてください

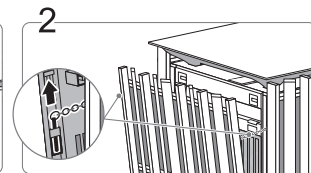
お手入れランプが点灯したとき

約1カ月に1回(運転時間が約720時間経過するとランプが点灯します)

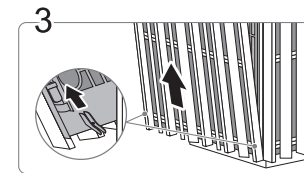
吸込口の格子フィルター(2カ所)を交換する



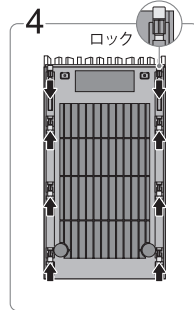
格子パネルの両端を押して、開いてください。



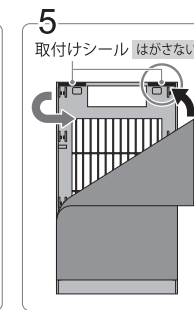
格子パネルのチェーンボール2カ所をはずします。



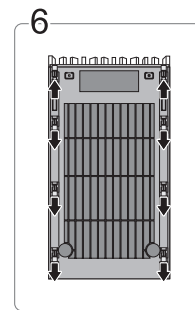
格子パネルを取りはずしてください。



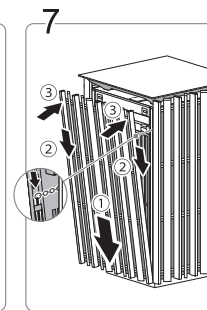
ロック(8カ所)をスライドし、インナーパネルを取りはずします。



格子フィルターを新しいものに取り換えます。



ロック(8カ所)をスライドし、インナーパネルを格子パネルに固定します。(すき間ができないように押さえながらロックしてください)



逆の手順で、格子パネルを取り付けてください。同様に反対側も交換してください。

お手入れ後

運転を開始し、お手入れリセットボタンを3秒以上長押しして、お手入れランプを消灯させてください。



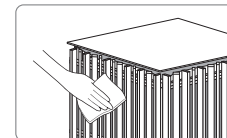
お手入れ後は、お手入れランプが点灯してなくても、お手入れリセットボタンを3秒以上長押ししてください。

前後の格子フィルターの汚れが気になったとき

左右の格子フィルターと同じ方法で交換してください。

格子パネル・天面カバーの汚れが気になったとき

乾いた柔らかい布で拭いてください。



お手入れ

■ プラズマクラスターイオン発生ユニットのお手入れ 約6カ月に1回(1日24時間使用した場合)

1

ユニット清掃ブラシ
ユニットホルダー

格子パネル、プレフィルター、集じんフィルター、脱臭フィルターを取り出し、本体からユニットホルダーを引き出す。(2ページ参照)

清掃前

電極部
電極(ブラシ)
根元周辺

清掃後

2

ユニット清掃ブラシ
電極部(2カ所)

イラストと実際の電極部の形状が異なる場合があります。また、清掃によって電極(ブラシ)の一部が切れ落ちる場合があります。いずれも性能上問題ありません。

ユニットの電極部に付いたホコリを、付属のユニット清掃ブラシで取り除く。

注意

- 付属のユニット清掃ブラシ以外でお手入れしない(故障の原因)
- ただし、電極部の根元周辺がひどく汚れている場合は、先を水で少し湿らせた綿棒でお手入れする。
- 電極(ブラシ)を直接手で触らない(痛み・かゆみのおそれあり)
- 電極を变形させない(故障の原因)
- 接続端子を触らない(故障の原因)

接続端子

■ ユニット交換ランプが点滅したとき

総運転時間が約17,500時間(1日24時間使用した場合、約2年)経過すると、ユニット交換ランプが点滅します。19,000時間を経過すると、ユニット交換ランプの点滅が速くなり、プラズマクラスターイオンの発生を停止します。どの運転モードで使用してもユニット交換時期は同じです。ユニットホルダーから古くなったユニットを取り出し、新しいユニットを取り付けてください。



1

古くなったユニット
(燃えないゴミとして廃棄してください)

ユニットホルダー **捨てない**

2

新しいユニット(形名: IZ-C90M(1個))

① ②

ユニットの取り付け方向を間違えると本体に取り付けることができません。

ツメをはずし(①)、古くなったユニットを取り出す(②)

新しいユニットを元通り取り付ける

警告 お手入れ時は電源プラグを抜いてください

■ 汚れやニオイが気になるとき

本体

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた布で拭く

絶対に水洗いはしない

プレフィルター

ホコリを掃除機で吸う

汚れがひどいとき:
① 台所用中性洗剤を溶かした液で、つけ置き洗いをする
② 洗剤が残らないよう、十分にすすぐ
③ 陰干しをする

●つけ置き時間 約10分

センサー部

ニオイセンサー、温度センサー、湿度センサーを掃除機で吸う

温度センサー
湿度センサー
ニオイセンサー

センサーフィルター(表裏はありません)

汚れがひどいとき:
センサーフィルターを水洗いする

●十分に乾かしてから本体に取り付けてください。

集じんフィルター

フィルター表面に付いたホコリを掃除機で軽く吸い取る(新聞紙などを下に敷くと周りが汚れません)

タグ

タグのある面だけお手入れする

水洗い・天日干しは絶対にしない
(フィルターの機能を失います)

- フィルターは破れやすいので、力を入れないよう十分に注意してください。
- お部屋の細かい粉じんやホコリを集めるため、変色(灰色、黄土色など)することがありますが、異常ではありません。

脱臭フィルター

フィルター表面に付いたホコリを掃除機で軽く吸い取る(新聞紙などを下に敷くと周りが汚れません)

両面お手入れする

水洗い・天日干しは絶対にしない
(フィルターの機能を失います)

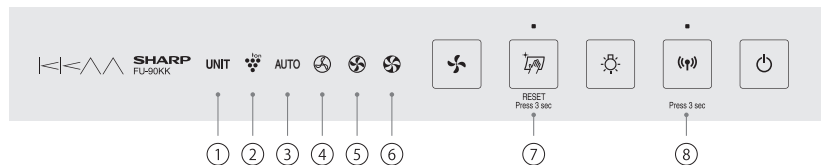
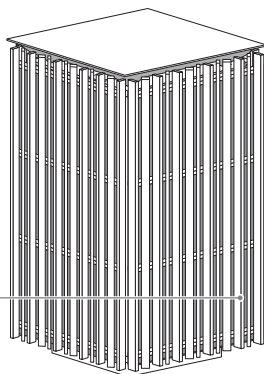
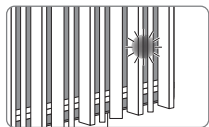
- フィルターに力を加えずぎると割れることがあるため、取り扱いには十分に注意してください。
- 有害なガス成分(タバコの酸化炭素など)・常時発生し続けるニオイ成分(建材臭・ペット自体のニオイなど)のすべてを除去することはできません。

お知らせ 集じんフィルターや脱臭フィルターの表面にホコリが付くことがありますが、異常ではありません。(本体の隙間からホコリが入ることがあります)

運転ランプが点滅したときは？

操作部のランプを確認してください。

運転ランプ



①が点滅しているとき	●8ページを参考にユニットを交換してください。
②が点滅しているとき	●プラズマクラスターイオン発生ユニットが正しく挿入されていますか？ ⇒プラズマクラスターイオン発生ユニットを取り出し再度奥まで挿入し、もう一度運転操作をおこなってください。
③または④または⑤または⑥が点滅しているとき	●電源プラグを抜いて、1分以上たってから再び差し込み、もう一度運転操作をおこなってください。繰り返しエラー表示になるときは、故障です。お買い上げの販売代理店、または別紙「ご利用にあたっての注意事項」に記載の「お客様ご相談窓口」に点検・修理を依頼してください。
⑦のお手入れランプが点灯しているとき	●8～9ページを参考にお手入れをおこなってください。
⑧のコネクトランプが速い点滅をしているとき	●通信エラーです。ルーターの通信状態を確認し、空気清浄機をルーターに無線LAN接続してください。空気清浄機を停止し、インターネット回線に問題が無いことを確認してから、もう一度、空気清浄機本体を運転してください。無線LAN機能を「切」にし、しばらくしてから「入」にしてください。別紙「無線LANガイド」に記載の「無線LAN機能の切り換え」をご確認ください。

こんなときは？

ニオイや煙が取れにくい	●フィルターがボリ袋に入ったままになっていませんか？ ⇒フィルターをボリ袋から出してください。 ●吹出口からの風が弱まっていませんか？ ⇒左右の格子フィルターやプレフィルター、センサー部、集じんフィルター、脱臭フィルターのゴミやホコリを掃除してください。
吹出口の風のおいが気になる	●フィルターの汚れがひどくなっていませんか？ ⇒集じんフィルター、脱臭フィルターのお手入れをしてください。それでも気になるときは、フィルターを交換してください。 ●ニオイの強い部屋で使用していませんか？ ⇒タバコや焼肉など、強いニオイがある環境で使用される場合、数週間から数カ月でフィルターからニオイが発生し、フィルターの交換が必要になる場合があります。お部屋の換気と併用してお使いすることをおすすめします。 ●プラズマクラスターイオン発生時に微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。
勝手に風量が切り換わる	●風量「自動」に設定していませんか？ ⇒センサーにより自動で風量を切り換えて、お部屋に適した風量で運転します。
勝手に運転を開始したり、停止したりする	●無線LAN機能を設定していませんか？ ⇒無線LAN機能を使って、スマートフォンなどから操作している可能性があります。 ●クラウドサービスを使用しないときは、無線LAN機能を「切」にしてください。詳しくは別紙「無線LANガイド」を参照してください。
プラズマクラスターイオンランプが点灯しない	●プラズマクラスターイオンを「切」にしていませんか？ ⇒6ページを参考にプラズマクラスターイオン「入」に設定してください。 ●ユニット交換ランプが点滅していませんか？ ⇒ユニットの交換時期です。新しいユニットに交換してください。
お手入れランプが消えない	●お手入れした後は、お手入れリセットボタンを3秒以上押し続けてリセットしてください。（お手入れランプが消灯します）
コネクトランプが点滅している	●別紙「無線LANガイド」に記載の「こんなときは？」をご確認ください。
コネクトランプが点灯しない／消えている	●別紙「無線LANガイド」に記載の「こんなときは？」をご確認ください。

木材は天然素材ですので、色合いや形に差がございます。
また使用する環境などにより色合いや形が変わる場合があります。